

市民立憲フォーラム・発言メモ

参議院憲法調査会幹事 参議院議員 鈴木寛

1. ポスト・モダンの時代に相応しい憲法を世界各国に先駆けて創造する。
20世紀の普通の国になるための憲法改正ではないはず
 - (ア) 物・エネルギー志向の産業社会 情報文化社会
 - (イ) 経済至上主義 価値多元主義
 - (ウ) 富国強兵・経済的繁栄 健康で文化的な尊厳ある一人一人の人生の充実とそれを可能ならしめるコミュニティの充実
 - (エ) 大量生産・流通・消費（資源（国土含む）、労働力（国民）、生産手段）
Communication・Collaboration・Creation（固有文化・知財・知源、多才な人材、知性・感性・悟性・知恵）
 - (オ) 標準化と一斉大量動員 カスタマイズ・タイミング・インタラクティブ
 - (カ) 職業・営業など経済活動の自由・財産権 文化・コミュニケーション権、健康・環境権
 - (キ) 勤労・納税 存在尊重・コミュニケーション・コネクト（連帯・連携）

2. 権利保障規範
 - (ア) 文化権 = 文化的存在である人間としての人格・尊厳が尊重され、人間同士のコミュニケーションが尊重される権利
 - コミュニティを設立・維持する権利（結社の自由）
 - 自己情報コントロール権（プライバシー権）、自己アイデンティティが尊重される権利（信教の自由、人格権、肖像権含む）
 - 情報アクセス・入手権（知る権利）、情報編集権・情報編集能力を修得する権利（学習権・学問の自由）、情報発信権（表現の自由）
 - 先祖・子孫とコミュニケーションする権利、自然とコミュニケーションする権利（自然環境権）

 - (イ) 健康生存権 = 生命体としての生存・健康へのあらゆるリスク（内から外から、緊急・累積）に対する予防・緊急措置・回復などが個々人々に直接に講じられる権利。及び、リスク対応が万全な環境やコミュニティの中で生活する権利。
 - 緊急のリスクから守られる権利（犯罪・侵略による暴力、事故、災害に対する予防・保護・救助・救命・リハビリを受ける権利（警備・警護される権利なども含む）
 - 累積・蓄積するリスクから守られる権利（食・薬・大気・水質、過剰労働に

よる蓄積疲労・ストレス = 食生活環境権・居住生活環境権・就業環境権)
健康回復・維持のための処置・支援を受ける権利(緊急・短期・長期の医療・
介護、健康維持・回復のための生活改善支援)

3. 統治原理・組織規範

- (ア) アメ(権利)とムチ(義務) ボランティア(自発的社会貢献)
- (イ) 中央集権 自律・分散・協調
- (ウ) 行政・立法・司法 スクール(学習支援)・メディア(情報受発信支援)
- (エ) 代議制民主主義・官僚主導 熟議型民主主義・シンクネット
- (オ) 議事堂 公共圏(フォーラム)
- (カ) イデオログ = 唱道者(イデオロギー) 編集者(編集方針)

4. 国際関係規範

- (ア) パワーバランス コミュニケーション・ディプロマシー
- (イ) ハードパワー ソフトパワー
- (ウ) 同盟 フォーラム

5. その他

- (ア) 簡短概括型か詳述規定型(大石真京大教授)
- (イ) 国政指針か裁判規範、プログラム規定か裁判規範(大石、長谷部東大教授)
- (ウ) 憲法・憲法秩序・憲法附属法(大石教授)
- (エ) 憲法解釈の民主的統制(松井孝治議員) 内閣法制局の専横 裁判所の躊躇